

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス 夜の景観資源開発プロジェクト
事業主体 (連絡先)	NPO地域づくり工房 (大町市大町 3302 Tel&Fax : 0261-22-7601 E-Mail : npo@omachi.org)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,737,636 円 (うち支援金 : 1,185,000 円)

事業内容

- ①第3回「長谷川章D-K (デジタル掛け軸) 塾」の開催及び塾生による自主投影
 - ・2020年10月9日(金)～18日(日)の10日間
 - ・会場：ゆ〜ふる木崎湖の外壁及びグランピング会場
 - ・参加者：塾3日間(塾生13名、講師5名)
自主投影6日間(のべ18名)
 - ・内容：高輝度プロジェクターと長谷川氏のデジタルデータの貸与を受けて「COVID-19後の世界への燈火」をテーマにデジタルアートを利用した地域づくりを議論するとともに、塾生による演習を行い、発信した。
- ②塾生による自主投影演習の実施(3ヶ所)

事業効果

- ※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
- ①地元塾生(6名)が定着し、長谷川氏の信頼も得て(デジタルデータの提供等)、塾生のみにより自主的に投影するノウハウを蓄積し、企画提案を行うことができるようになった。
 - ②10日間の連続投影を行ったことにより、地域社会への反響を広げて、協働して「夜の景観づくり」を進める仲間が増えて、次年度への展望を開いた。
 - ③地元でのイベント企画に関連して、提案を求められるようになるなど、知名度が高まった。

今後の取り組み

- ※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
- ①第4回D-K塾を開催し、投影技術や演出のレベルアップを図る。
 - ②今年度において広げた地域社会での連携を生かして、D-Kを生かした自主的な「夜の景観づくり」イベントを企画、実施する。
 - ③地域のイベントに対してD-Kの利用を企画提案する活動を進める。
 - ④上記②と③を通じて、「夜の景観づくり」を推進するコミュニティ・ビジネスを立ち上げて、持続的な運営を図る。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ゆ〜ふる木崎湖外壁への投影】

【目標・ねらい】

- ①D-K を利用した「夜の景観づくり」の担い手を育てる。
- ②COVID-19 対策を考慮した開催方法を模索する。

※自己評価【B】

【理由】
10日間の連続投影を機に地域社会に広げていく上での関係づくりができたが、COVID-19の影響により実際のイベントにはつながらなかった。